

みずから立てた問い合わせる者に迫り来るとき

宮本久雄／武田なほみ編著

## あなたの隣人はだれか

現代における共生の行方

2011年上智大学神学部  
夏期神学講習会講演集



森本あんり

本書は、昨年上智大学で行われた「夏期神学講習会」の諸講演をまとめたものである。この講習会は、神学的研鑽を求めるすべての人々に開放されており、かつ文部科学省により宗教科免許状取得のために必要な単位としても認定を受けているため、毎年高校や中学の教員からかなりの出席者があるとのことである。わたし自身も今年は講師をつとめたため、慣例でこの書評をお引き受けすることになった。

これが「第五八回」というから、この講習会は戦後を通じてほとんど休みなく続けられてきたことになる。こういう息の長い仕事のできるところが、カトリック教会の強みである。今回は特に「あなたの隣人はだれか」という総合主題が掲げられており、昨年二月一日以来多用されるようになつた「絆」という言葉が響いてくるかのようである。だが、編者おふたりの「まえがき」と「むすびとひらき」を読むと、この主題はすでにその数か月前に決められていた、ということが明らかとなる。主催者は、自ら定めてあつたその主題をまったく新たな状況のもとで受け止め直すことを余儀なくされたのである。事実、何

全体は五部構成で、聖書学、神学、宗教学、他宗教思想から学びの後に、「放射能の荒野・隣人・共生」という題で行われたシンポジウムの記録が付されている。論題や分野は多岐にわたり、五日間を費やして行われた十一の講演と四つのシンポジウム発題を記録した一冊であるから、この小欄で紹介できることはごく一部に限られてしまう。偏りのあることをお許しいただいた上で、特にわたし自身が学んだことをいくつか挙げさせていただきたい。

プロテスタント組織神学者の芳賀力氏は、三位一体の神の位格間ににおける相互浸透と役割分担を論じた上で、その神の大いなる物語に出会い、これに応えることで取り戻される他者との共在を語る。光延一郎氏は、隣国である韓国の「東学」思想と

たゞ、最後のシンポジウムは、それぞれ有意義な発言ながら、どちらかと言つて四つの別々の小講演を集めたような印象である。発題者相互のやりとりやフロア聴衆との自由な質疑応答が見えて、もっと活発で魅力ある記録となつたかもしれない。せつかくこれだけの陣容を集めめたのであるから、「競演」でもあり「饗宴」でもあるような本来の「シンポジウム」を聞きたかった、という思いが残る。

とはいっても、こうした学びの会が長く継続的に開催され、そこに多くの参加者が真剣な面持ちで集まつているという貴重な事実自体が、現代日本における「隣人」や「共生」のありかを指し示している、とも言えるだろう。企画や編集に携わった方々に感謝を申し上げたい。

(もりもと・あんり)国際基督教大学学務副学長

(四六判・三四四頁・定価)九四〇円(税込)・日本キリスト教団出版局

3.11後に聴くべき言葉を精選

6人の渾身のメッセージ!!

TOMOセレクト 3.11後を生きる

各冊 四六判・80頁・840円

「助けて」と言おう

奥田知志



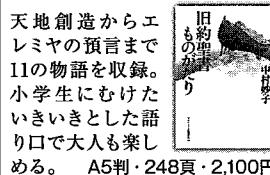
今、いのちを守る 片岡輝美



立ち向かう

旧約聖書  
ものがたり

中村妙子 嶩谷小波文芸賞 受賞



ルカの救済思想  
断絶から和解へ 木原桂二

放蕩息子やザイアカイなど、ルカ文書に特徴的な「改心」の物語を丹念に分析し、「救い」との関わりを解明する。 A5判・306頁・4,410円

日本キリスト教団出版局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457  
E-mail eigo@bp.uccj.or.jp(価格税込)  
[http://www\\_bp.uccj.or.jp](http://www_bp.uccj.or.jp)